

虫をそだてた

一宮東部小・2 平野 しょうま

弟のほいくえんで、弟がバッタを三びきつかまえてきました。バッタを虫かごの中に入れました。弟が、

「バッタ、三びきつかまえて、虫かごの中に入れたい。」
と言いました。そのバッタ三びきをかいました。

つぎのつぎの日に、ならいごとのスイミングがありました。帰ってげんかんのドアをあけようとしたら、ベランダにキリギリスがいました。まず家に入って、虫かごと虫とりあみをもって、弟がキリギリスをつかまえにいきました。お父さんも、弟についていきました。三分くらいして、弟とお父さんが帰ってきました。虫かごの中に、キリギリスが一びき入っていました。キリギリスがいる虫かごの中に、はっぱを入れました。バッタといっしょにしてもだいじょうぶかなと思いました。

バッタといっしょにしてみたつぎの日の昼ごろ、弟が言いました。
「キリギリス、出したほうがいい。」

キリギリスが、三びきのバッタのうちの一びきをくわえていました。みんな、びつくりしました。ぼくは弟に、

「だから、バッタとキリギリスはいっしょにしないほうがいいって
言ったのに。」

と言いました。キリギリスは、虫かごから出るときもバッタをくわえていました。バッタは、二ひきにへりました。そのつぎの日、弟

がほいくえんでカマキリをつかまえてきました。

今どは、カマキリとバッタをいっしょにしませんでした。カマキリは何を食べるか、分かりませんでした。あげてみたのは、お魚ソーセージ、かまぼこ、はっぱだけど、ぜんぶ食べませんでした。だから、カマキリはしんでしまうかと思ったけれど、しにませんでした。にがすときまで、生きていました。かごをあけたら、すぐには出ていかなくて、二分くらいしてから出ていきました。

つぎの日の夜、お父さんがノコギリクワガタを入れたはこをもつて帰ってきました。お父さんの学校の、校長先生がつかまえてくれたと言っていました。弟はうれしそうでした。大きい虫かごに木を入れて、こん虫ゼリーを入れました。それから二週間たって、クワガタのあごが、虫かごのプラスチックにはさまっていました。つめきりでプラスチックをこわそうとしたけど、こわす前にあごが外れました。みんな、よかったと思いました。

その後に、お父さんが今どはめすをもらってきてくれました。前のはおすでした。おすはあごが長いけど、めすは長くなかったです。おすは木の上がすきです。だけどもめすは、下がすきです。たまに二ひきとも、木のうらがわにいます。おすがねるときは、土の中でねています。めすも、おすといっしょで土の中でねると思います。おすは、いつもめすの近くにいます。